# 淀川愛好会 YODORIC NEWS

**No.73** 2016年3月発行

==========

**〈会員の窓　33〉**

## “ヒト”に汚されたお星さま

相本　太刀夫

‘かつては’無垢だった水の惑星に生きている私には、お目にかかりたい憧れの女性がいます。でもその方にはもうこの世ではお会いできません。

Rachel L. Carson女史は、“Of the human、by the human、for the human（人の、人間による、ヒトのための)”という目的で作られた合成化学物質※（主に農薬：殺虫剤、殺菌剤、除草剤などが対象）が生態系を破壊し、ヒトを含む生きものたちを死の淵に追いやっている、と告発・警告した名著『Silent spring（1962年）：生と死の妙薬、のちに‘沈黙の春’と改称』を著した米国の海洋生物学者です。

女史の著書は、『Under the sea wind(1941年)：潮風の下で』、『The sea around us(1951年)：われらをめぐる海』、『The edge of the sea(1955年)：海辺』などがあります。いずれにも生きものたちが共生する自然を大切にし、こよなく愛した女史の思いが込められています。女史は、亡くなった妹の子ども（姪2人）と姪の息子を引き取って育てながら調査・研究に勤しみ、人間の驕りが如何に自然を破壊しているかを、大きな抵抗勢力（利益を追求する企業、無理解な行政、独善的な研究者、便宜に踊らされる政治家、無知・無関心な市民ら）を向こうに廻しながら世に訴えました。その大きな敵との戦いに女史は勝ちました。

『Silent spring』に啓発されたJohn. F. Kennedy大統領の化学物質汚染への関心がDDTの全面禁止につながりました。さらに女史の没後ですが、その功績が認められて、James. E. Carter大統領から“大統領自由勲章”が授けられました。

しかし、女史の遺訓は今も十分に生かされておらず、化学物質による環境汚染の害は極めて深刻で、環境化学物質が子供たちの自閉症やADHD（注意欠陥多動性障害）の原因ではないか、と疑われています。これに関連して環境省は、2011年から『エコチル調査』を行っています。

私たちは、過去の事例にしっかり学び、life styleを見直すべき時を迎えています。その理解を深める書として、『Silent spring』や『Our stolen future：奪われし未来』をお薦めしたい。

※Chemical Abstractsに登録の無機＆有機物質：1億785万種（2016年3月末現在）

YODORIC NEWS編集長（元摂南大学薬学部教授・大阪大学大学院薬学研究科特任教授）

# イベント案内

詳細は３頁

### 淀川愛好会　春のイベント

日時　2016年４月29日(金・祝)　10：00～15：30

会場　淀川・点野地区　　申込〆切：４月22日(金)　淀川愛好会事務局まで

### ホタル観賞会

日時　2016年６月４日（土）　19：00～21：00（予定）

会場　関西創価学園　他　　申込〆切：５月28日(土)　淀川愛好会事務局まで

### 近畿水環境交流会 in 瀬田川

日時　2016年７月23日（土)・24日（日）

会場　アクア琵琶、瀬田川　他　（詳細は次号でご案内します）

# イベント報告

## 淀川愛好会総会・新年会 2016

１月９日（土）、酒処かつみにて行われました。20 名の会員が参加し、2015 年度の活動報告があり、次年度の事業計画について話し合われました。また、各会員の近況報告や今年の抱負、学生はこれからの進路について語り、会員同士の交流を図りました。

2015 年度の事業報告

| 日程 | 内容 | 開催場所 |
|---|---|---|
| ４月 25 日（土） | 春のイベント | 京都大学防災研究所 |
| ６月６日（土） | ホタル観賞会 | 関西創価学園・南星台 |
| ７月 25・26 日（土・日） | 夏のイベント | 京都大学防災研究所 |
| 10 月３日（土） | 秋のイベント | 京都大学防災研究所 |
| １月９日（土） | 総会・新年会 | 酒処かつみ（寝屋川市駅前） |
| ２月 27 日（土） | 淀川討論会 | 摂南大学 |

2016 年度の事業計画

| 日程 | 内容 | 開催場所 |
|---|---|---|
| ４月 29 日（金） | 春のイベント | 点野砂州 |
| ６月４日（土） | ホタル観賞会 | 関西創価学園・南星台 |
| ７月 23・24 日（土・日） | 夏のイベント | アクア琵琶・瀬田川 |
| 10 月～11 月 | 秋のイベント | 未定 |
| １月７日（土） | 総会・新年会 | 酒処かつみ（寝屋川市駅前） |
| ２月 25 日（土） | 淀川討論会 | 摂南大学 |

## 琵琶湖・淀川流域圏連携交流会10周年記念フォーラム

２月20日（土）・21日（日）に開催されました。20日は、27名が13時30分に京阪電車墨染駅前に集まり、鴨東運河（琵琶湖疏水）、墨染ダム、伏見インクライン跡、七瀬川、御香宮、寺田屋浜、伏見みなと広場、木津川流れ橋を見学した後、四季彩館で交流会を催し、懇親を深めました。21日は京都大学防災研究所宇治川オープンラボラトリーにて、50名を超える参加のもと、午前は国土交通省近畿地方整備局による基調講演と滋賀県、京都府、奈良県、兵庫県、大阪府の各団体からの基調報告があり、午後は流域内の約20団体からの川自慢・活動自慢がありました。大阪湾での活動団体の発表もあり、上流域から海までネットワークが広がりました。各団体の発表はどれも熱く、いろんな人と交流できたフォーラムとなりました。

澤井先生による、巨椋池ビオトープの説明の様子

## 第18回 淀川討論会

２月27日（土）、摂南大学寝屋川キャンパス コミュニティールームにて行われました。30名を超える参加がありました。今回の討論会では、国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所寺内雅晃副所長から「淀川が持つ空間としての可能性を活かした公園づくりに向けて」のご講演がありました。ハード整備とソフトの充実、この２つがあるからこそ魅力的な公園づくりができるというご講演で、参加者の方と活発に意見交換が行われ、ハード面の立場とソフト面の立場の思いをぶつけることができました。また、活動報告として、澤井健二摂南大学名誉教授、北村美紗樹さん（石田ゼミ）による「京都大学防災研究所宇治川オープンラボラトリー構内巨椋池流域模型ビオトープ構想」や、上野裕士氏（内外エンジニアリング）による「環境用水研究会の動向」、京都市立伏見工業高等学校 工学探究コース 環境再生班による「ホタルの飛遊する水辺環境調査（京都市内11か所）」、摂南大学エコシビル部による活動報告、萩原麻樹さん（石田ゼミ）による「点野砂州における水辺再生活動」など５つの発表があり、質疑応答などが活発に行われました。その後の懇親会では、河川に関わる様々な立場、思いを持った人たちと交流することで、お互いの活動を理解しあうことができ、今後も様々な立場で頑張っていこうと思います。（萩原記）

## 第９回 桂川流域クリーン大作戦

２月 28 日(日)に、桂川流域クリーンネットワーク主催で開催され、桂川流域内 23 ヶ所にて、230 団体、約 2900 人が参加しました。エコシビル部から７名が参加し、京都府八幡市にあるかわきた自然運動公園を清掃しました。２時間かけて大量のゴミを回収することができました。大きいものでは、ソファーベッドとサンドバッグがありました。細かなもので多くあったのは、いいちこの空の容器です。しかし、すべてのゴミを回収することができず、おおまかにはきれいになってもよく見ると清掃しきれてないことがわかりました。川をきれいに保つにはゴミを増やさないことが一番なので、皆で協力し合っていけたらと思います。

(エコシビル部記)

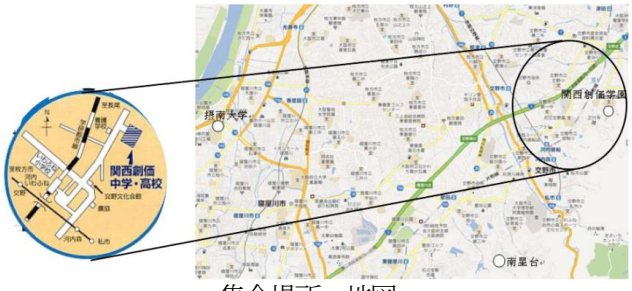
# 今後のイベント詳細

### 淀川愛好会 春のイベント「淀川点野水辺のつどい」

日時　2016 年４月 29 日（金・祝）10:00～15:30
場所　淀川河川公園点野野草地区（寝屋川市）
行程
　10:00　受付　淀川河川公園太間サービスセンター
　10:30　点野ワンド見学
　11:30　点野砂州でＥボート準備
　12:00　昼食（各自持参）
　13:00　Ｅボート乗船
　14:30　後片付け
　15:00　点野流域センター見学
　15:30　解散
　　悪天候の場合は、受付後、摂南大学に移動。
　　10:30～12:00　１号館１階プレゼンテーションロビーにてワークショップ。
　　昼食後、天候が回復していれば、点野砂州へ移動。
　　午後も天候が回復していなければ、昼食後解散。
共催　淀川愛好会，ねや川水辺クラブ（河川協力団体）
協力　淀川管内河川レンジャー，国土交通省淀川河川事務所，淀川河川公園事務所
参加費　無料
申込先　淀川愛好会事務局
〆切　　４月 22 日（金）

### ホタル観賞会

日時：2016 年６月４日(土)　19：00～21：00　　予定
主催：関西創価学園
集合場所：関西創価学園正門前(交野市寺 3-20-1)
参加費：無料　　申込先：淀川愛好会事務局　　〆切：５月 28 日（土）



集合場所　地図

一昨年の観賞会の様子。
ホタル保存会の生徒さんたちからホタルの生態に関する説明が行われます。

〈会員の窓　34〉

## 一年間を振り返って

三渕　貴大

私は、昨年の４月から１年間石田ゼミに配属されました。それまでの私は、川や自然のことは大学の授業の講義ぐらいの知識しかありませんでした。しかし、４月から石田ゼミや淀川愛好会の活動など、様々なイベントに参加させていただきながら、たくさんの方とお話ししていると、私自身に変化がありました。それは、自然に深く関わることで、見えていなかった自然の魅力に気づいたことです。正直なところ、ゼミに配属されるまでは、川や自然での人の関わりは、そこまで多くないと思っていた私でも、想像を超えるぐらいのイベントに参加させていただき、その度にたくさんの人を見ているうちに、川や自然が好きな人、守りたい人がこんなにもいるなんて思いもしませんでした。

また、池の里市民交流センターでの活動である「西小子ども自然教室」にもたくさん参加させていただきました。この活動で私は、スタッフとして企画や準備、運営まで携わるという初めての経験をすることができました。イベントの中で子どもたちと触れ合うことで、忘れかけていた懐かしい気持ちを思い出すことができました。イベントでは成功することや失敗することもありましたが、私にとっては大きく成長することのできた経験になりました。

この１年間で、石田ゼミ、淀川愛好会、池の里市民交流センター、その他たくさんのことに関わったことで、人と人とのつながりの大切さを学ぶことができました。そして今私がこの記事を書いていることは、１年前の私が見ると驚くだろうと思います。もっと早く自然について知りたかった気持ちでいっぱいです。この気持ちを忘れずにたくさんの人に自然の面白さを伝えられることができればと思います。

（摂南大学理工学部　都市環境工学科　４回生　就職先：三貴建設工業株式会社）

### 編集委員交代のごあいさつ

一年間編集委員を務め、様々なイベントについて文面でお伝えすることで、改めて淀川流域の魅力について感じることができました。新４回生にバトンタッチしますが、これからもYODORIC NEWSを楽しんでいただければと思います。ありがとうございました。

学生編集委員：南部・萩原・三渕

**会員募集・寄稿・会費納入のお願い**

**淀川愛好会では、淀川に興味・関心のある方のご入会をお待ちしております。ご入会を希望される方は淀川愛好会事務局へ随時ご連絡ください。また、「会員の窓」も随時募集しています。**

**会員の方は、今年度の年会費（3000 円、学生は 1500 円）を納入してくださるようお願いします。**

**会費は事務局にお届けくださるか、下記の口座にお振込みください。**

**郵便振替口座：00920-6-116036　加入者名：淀川愛好会**

**銀行振込口座：りそな銀行 寝屋川支店　　普通預金　　口座番号：2230030　口座名義：淀川愛好会**

### 編集後記

早いものですね。本紙の編集を引き受けて丸４年が経とうとしています。いつものことですが、年度末最終号の編集会議を迎える頃になると、妙に遣る瀬ない気持ちに囚われます。その源は、限られた紙面に各自の思いが籠められた盛り沢山の情報を提供してくれている学生豆記者たちが、やっと記者魂が身についたな、と思える時分には学園を巣立って行くことにあります。時の流れがもたらす節目を押し留めることもできず、素直に受け止めざるを得ませんね。

新天地での彼らの活躍を祈念しながら、来る新記者を迎えるべき、新たなる心の準備をしています。

編集長　相本太刀夫（元摂南大学薬学部教授）

淀川愛好会事務局：〒572-8508寝屋川市池田中町17-８　摂南大学理工学部都市環境工学科　石田研究室内
TEL/FAX：072-839-9125
HP： http://www.setsunan.ac.jp/civ/yodoric
E-mail：ishida@civ.setsunan.ac.jp